

新たな都市計画道路及び矢坪沢水路整備 計画説明会



令和3年12月20日（月曜日） 午後7時00分より

令和3年12月22日（水曜日） 午後7時00分より

令和3年12月26日（日曜日） 午後2時00分より

クアーズテック秦野カルチャーホール（秦野市文化会館）大ホール

秦野市都市部まちづくり計画課
建設部道路整備課

本日の説明内容

- ① 新たな都市計画道路
- ② 矢坪沢水路整備計画
- ③ 今後の進め方

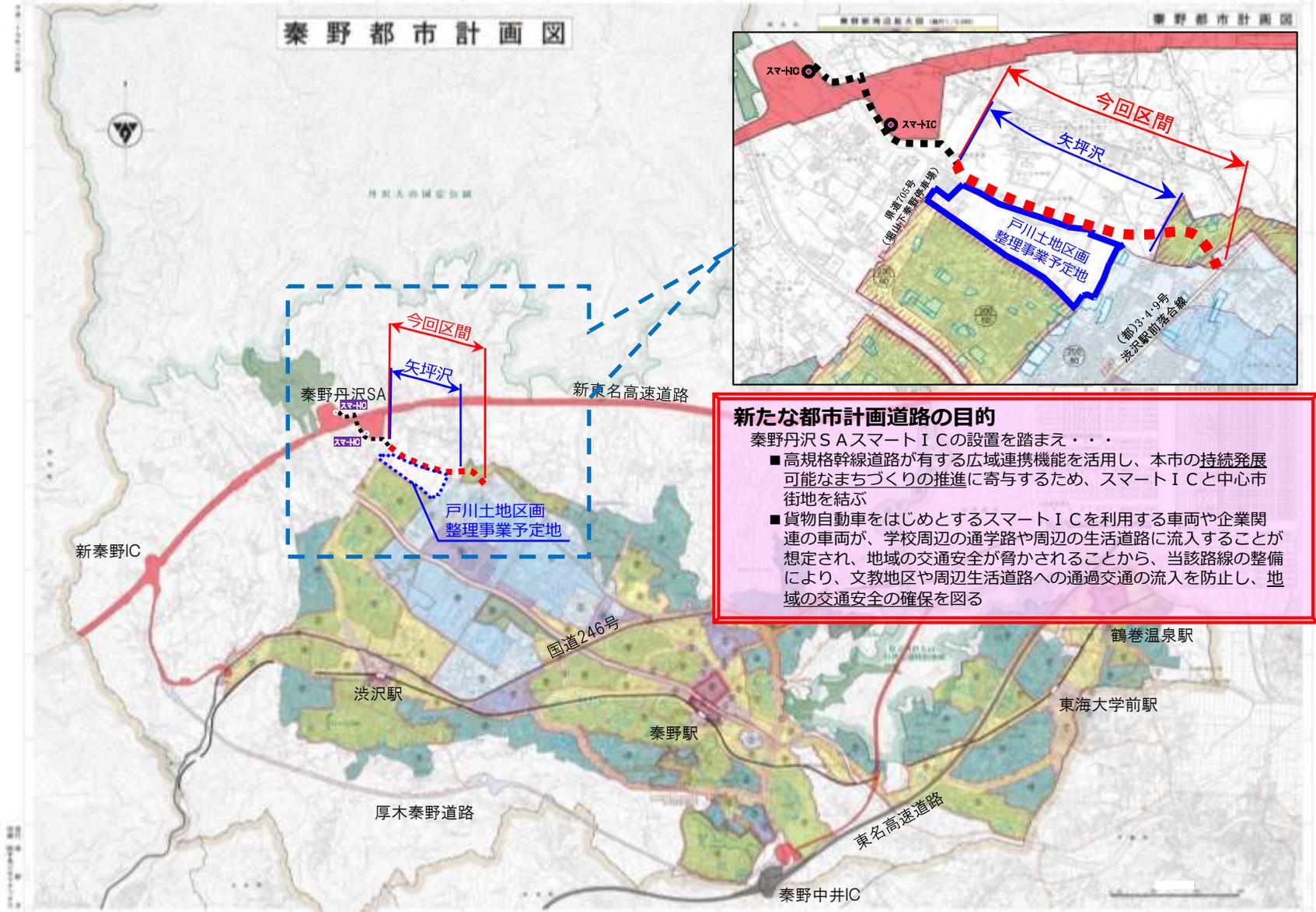


① 新たな都市計画道路

スマート I C と中心市街地を結び

地域の基軸となる新たな都市計画道路





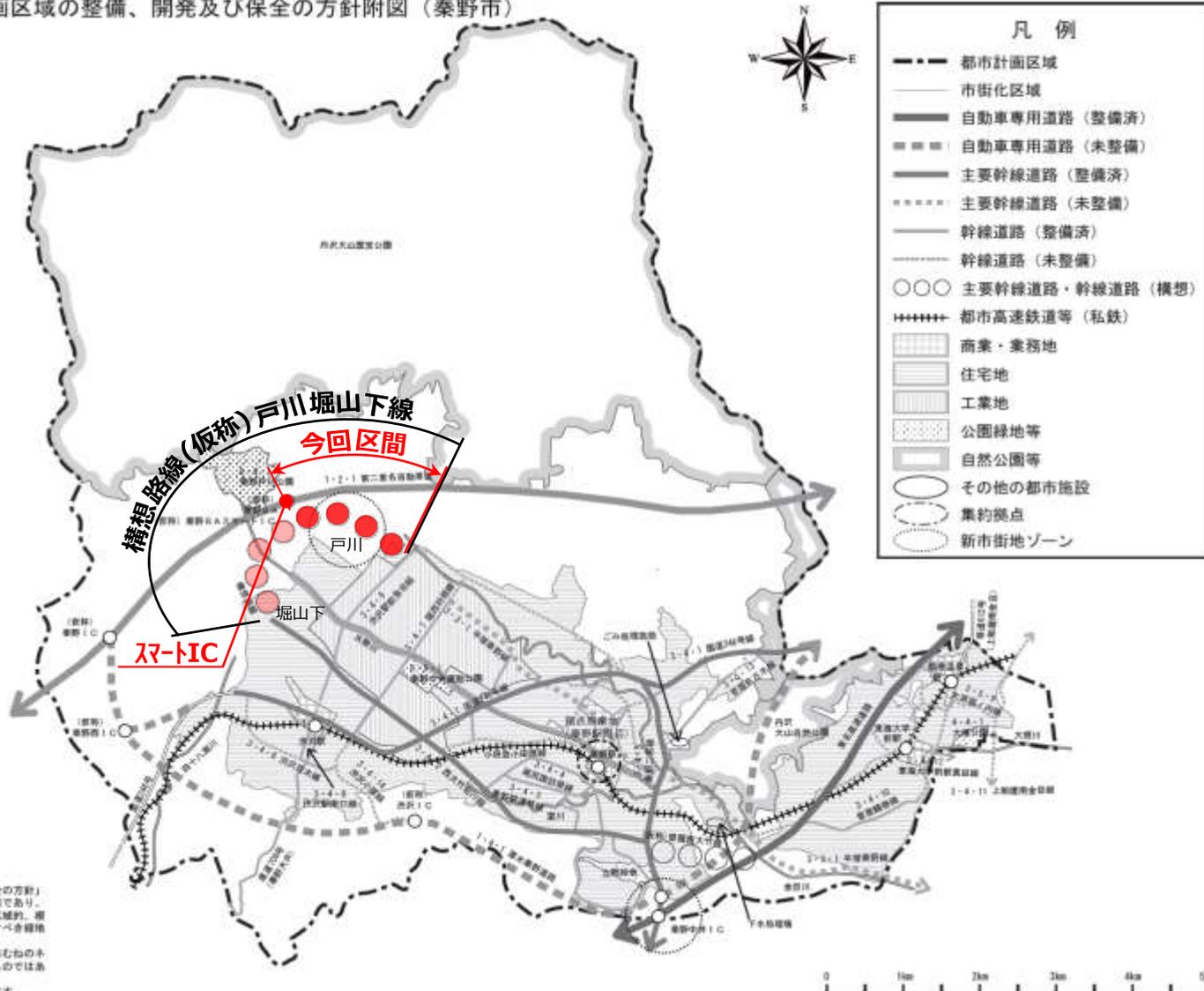
新たな都市計画道路の目的

秦野丹沢SAスマートICの設置を踏まえ・・・

- 高規格幹線道路が有する広域連携機能を活用し、本市の持続発展可能なまちづくりの推進に寄与するため、スマートICと中心市街地を結ぶ
- 貨物自動車をはじめとするスマートICを利用する車両や企業関連の車両が、学校周辺の通学路や周辺の生活道路に流入することが想定され、地域の交通安全が脅かされることから、当該路線の整備により、文教地区や周辺生活道路への通過交通の流入を防止し、地域の交通安全の確保を図る

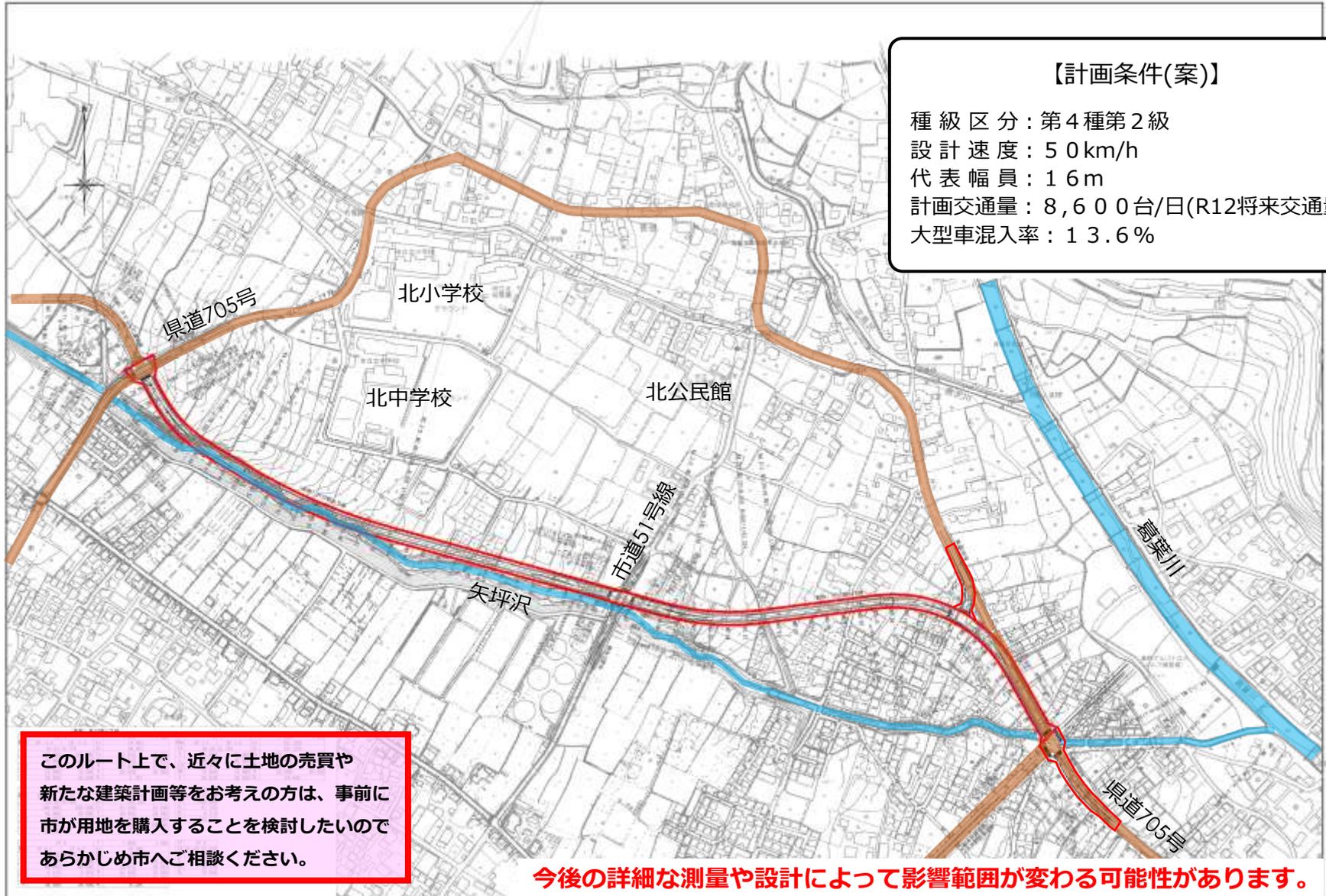
仮称の路線名称 第7回線引き見直し (H28.11.1告示)

秦野都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針附図 (秦野市)



方針附図は「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」の内容を分かりやすく説明するための補足的な図案であり、右記の範囲、主要な用途等の土地利用の方針、広域的、複線的な交通体系の配置の方針、自然的環境や保全すべき緑地等の方針などをおおまかに示したものです。
 道路等の構想路線(〇〇で表示)については、おおむねのネットワークを示したものであり、位置を示したものではありません。
 道路等で、(未整備)には整備中のものも含まれます。

全体計画平面図

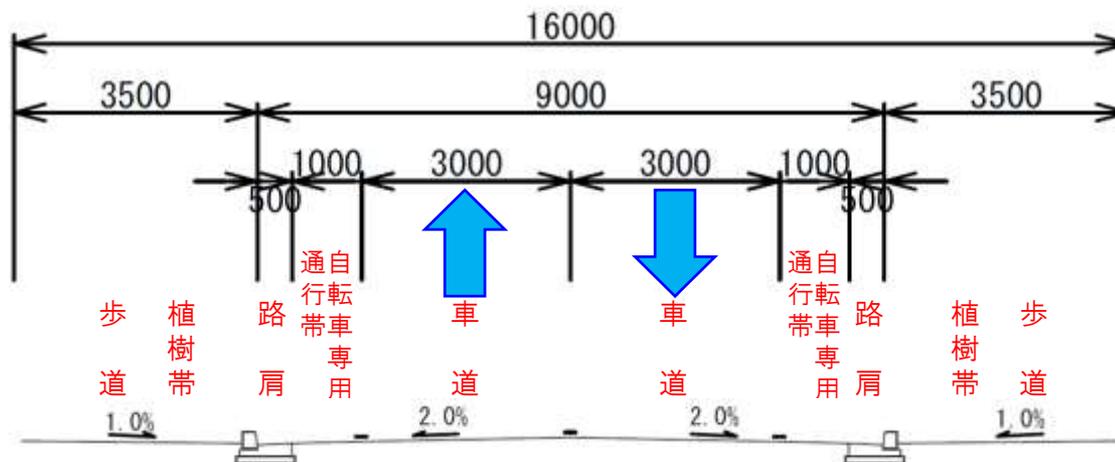


航空写真重ね図

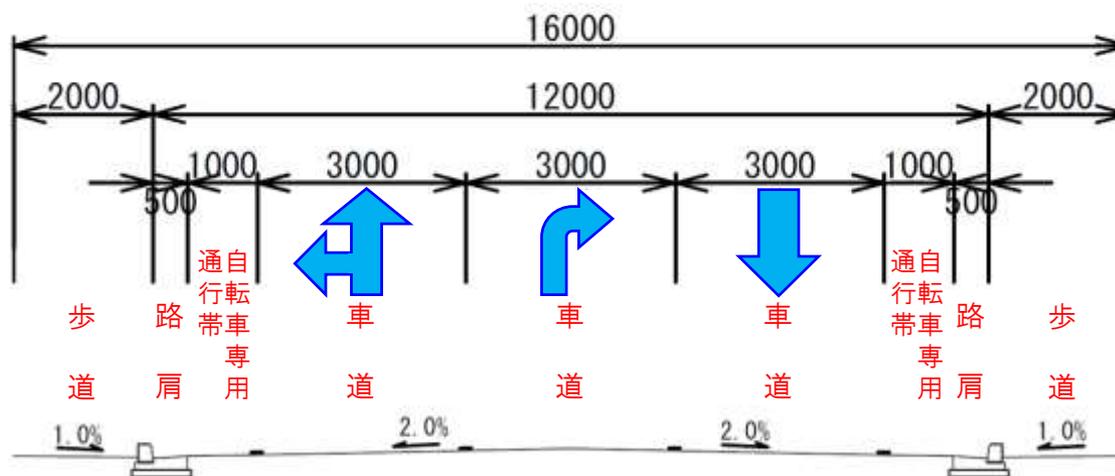


今後の詳細な測量や設計によって影響範囲が変わる可能性があります。

標準部



交差点部



<参考> 類似道路のイメージ

都市計画道路 3・4・9号 渋沢駅前落合線(総幅員18m)



18.0m							
4.5m		9.0m				4.5m	
3.0m	1.5m	1.5m	3.0m	3.0m	1.5m	1.5m	3.0m
歩道	植樹帯	停車帯	車道	車道	停車帯	植樹帯	歩道

都市計画道路 3・4・10号 曾屋鶴巻線(総幅員16m)



16.0m							
3.5m		9.0m				3.5m	
2.5m	1.0m	1.5m	3.0m	3.0m	1.5m	1.0m	2.5m
歩道	植樹帯	停車帯	車道	車道	停車帯	植樹帯	歩道

② 矢坪沢水路整備計画

安心・安全な水路の整備



■現在の矢坪沢

- ・法面の風化や河床の洗掘により法面の崩落や浸食が進んでいる
- ・崩落した土砂や法面の倒木及び上流からの流木等により水の流れが阻害され下流域への被害が懸念される
- ・矢坪沢を活動域とするイノシシやシカ等による農作物の被害も増えている



写真：戸川側から見た矢坪沢の外観

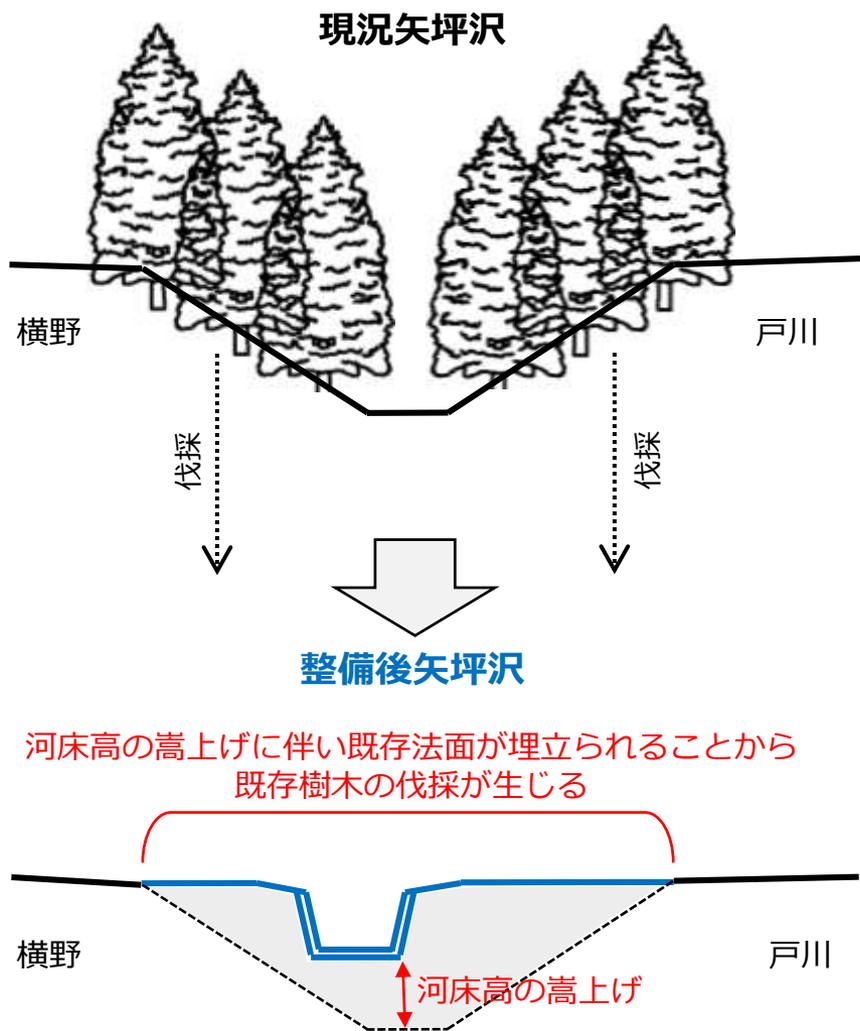


写真：矢坪沢の内部の状況



写真：下流側整備済み区間

■ 整備のイメージ(案)



矢坪沢水路整備事業に対する市の考え方

■事業の目的

- 矢坪沢は、河床の浸食防止・法面の土砂流出防止・下流域の氾濫防止など、治水対策上の課題が挙げられていることから昭和55年に砂防指定地に指定され、これらを改善するため、現在よりも河床勾配を緩くし、風化や崩落を防止する護岸整備、必要な河川断面の確保を図ることで、安全で安心な水路の整備を実施する

■矢坪沢水路整備事業に対する市民の声

- 樹木の伐採を見直してほしい、自然環境を最大限保全してほしい、「多自然川づくり」による整備方法を取り入れてもらいたい、土砂災害を防ぐためにも環境整備を実現してもらいたい、不法投棄や獣害が生じているなどのご意見ご要望をいただいています。

■市の考え方

- 矢坪沢水路整備事業は、安全・安心な水路整備を目的としますが、これまでいただいたご意見等を重視し、現在実施中の測量結果や、今後、予定する設計業務等において、関係機関との調整や法令等の基準及び経済性も考慮したうえ、できる限り自然環境に配慮した整備方法を検討します



多自然川づくりと自然環境への配慮①

■多自然川づくりの定義（抜粋：多自然川づくり基本指針）

◎多自然川づくりとは、河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川環境を保全・創出するために、河川管理を行うことをいう。

→測量による現況調査や法面及び樹木の現況調査の実施

→地域の方々との意見交換

■矢坪沢における多自然川づくり

◎護岸の必要性についての検討

→治水上の安全性の確保が必要であり、河岸浸食や流木の作用等に対する河岸防護のため、護岸の設置が必要。

◎護岸の設置に伴う環境配慮

→河川景観の形成（人の目に触れる機会が多い）

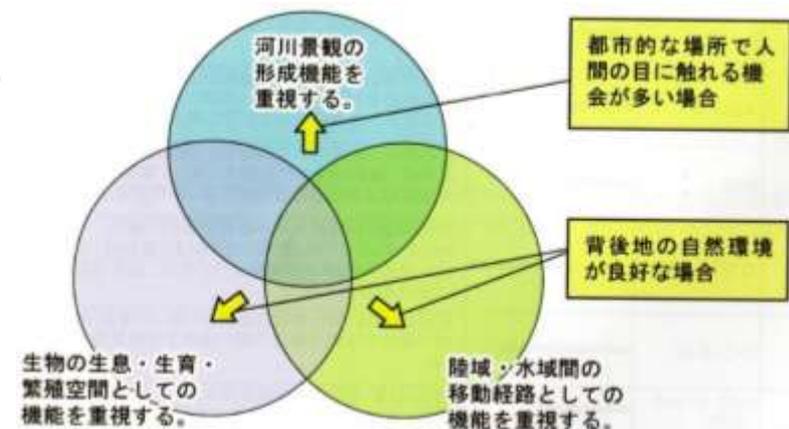
→生物の生息・生育・繁殖の空間（自然環境が良好）

→陸域・水域間の移動経路（自然環境が良好）

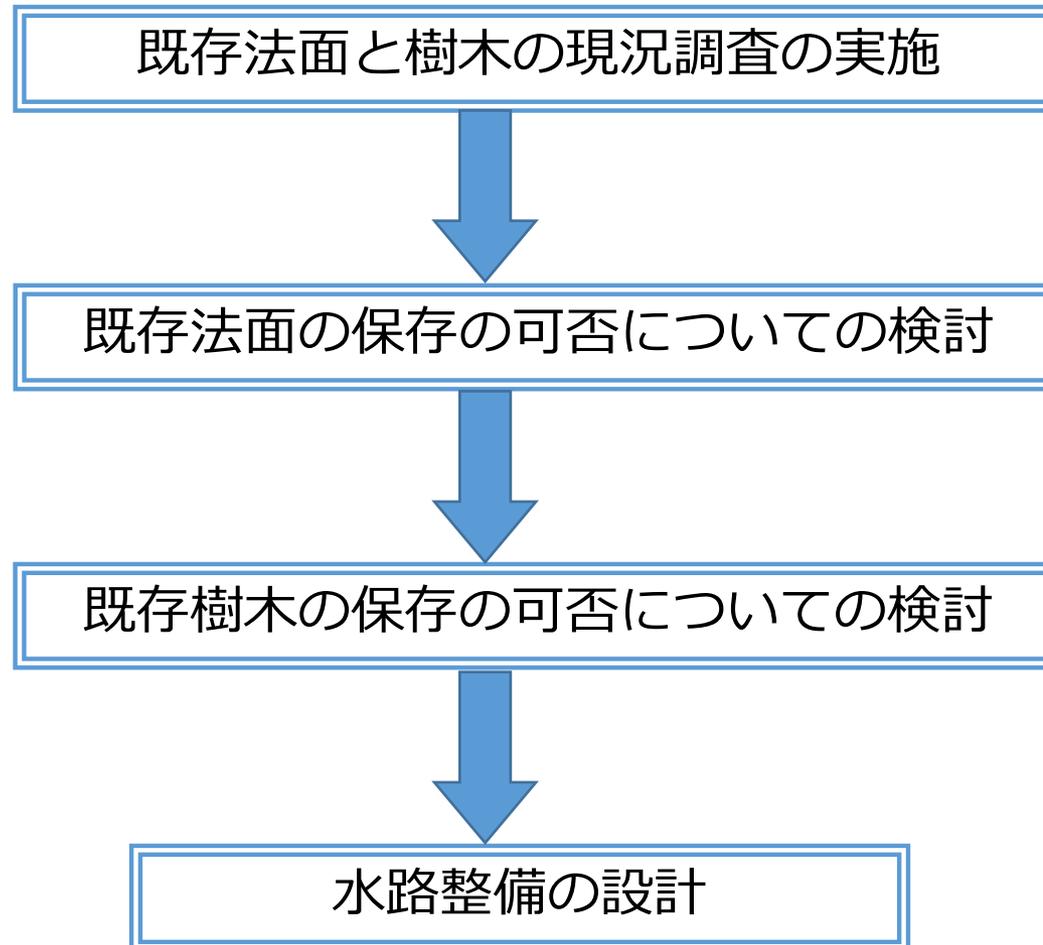


◎景観と自然環境への配慮

→環境機能を回復する視点を持ち、周囲の景観との調和を重視した水路整備



■ 既存の法面と樹木の利活用



■ 整備のイメージ(案)



【計画断面(案)】

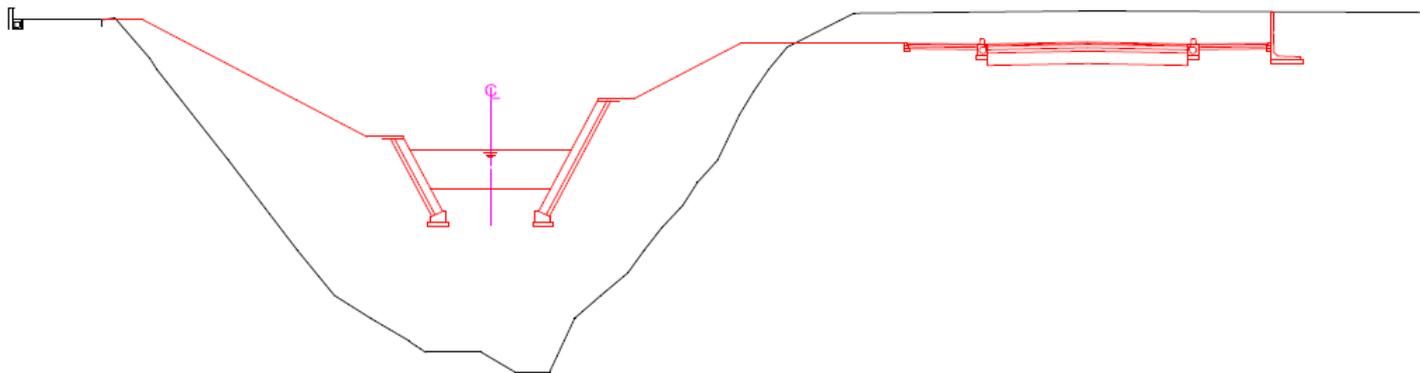


【計画条件(案)】

設計基準：神奈川県「砂防事業の手引き」を準拠
降雨確率年：30年
護岸形式：コンクリートブロック（景観配慮タイプ）
渓床構造：二面張り（基本構造）

【上流部】 断面検討のイメージ

当初の計画断面図



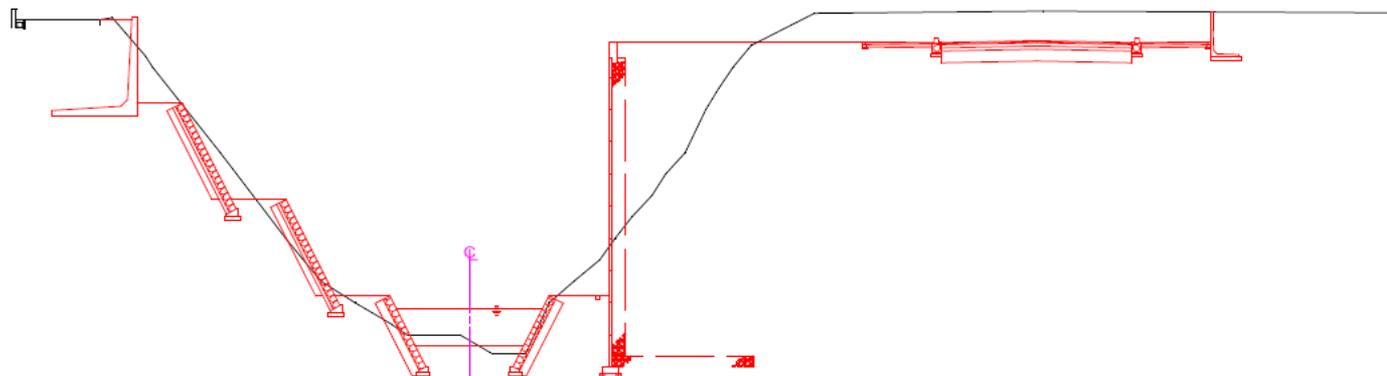
戸 川



検討

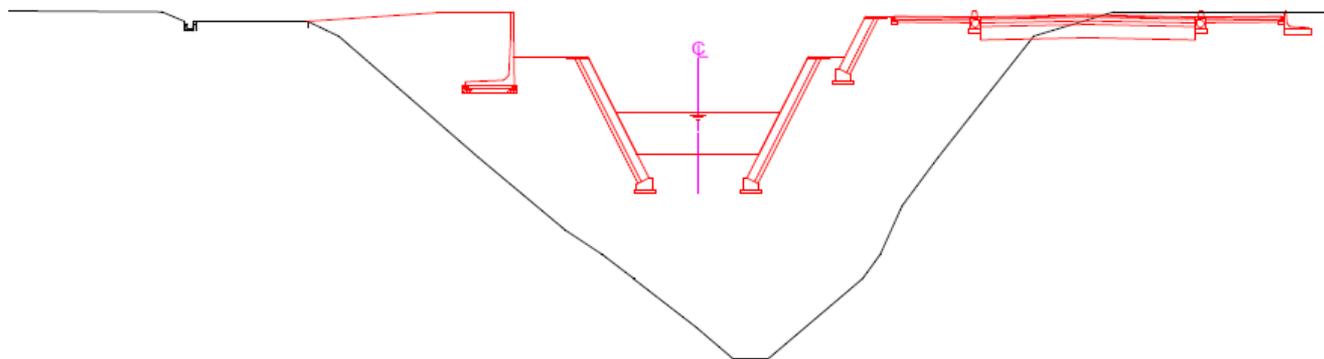
横 野

現在の計画断面図



【中流部①】 断面検討のイメージ

当初の計画断面図

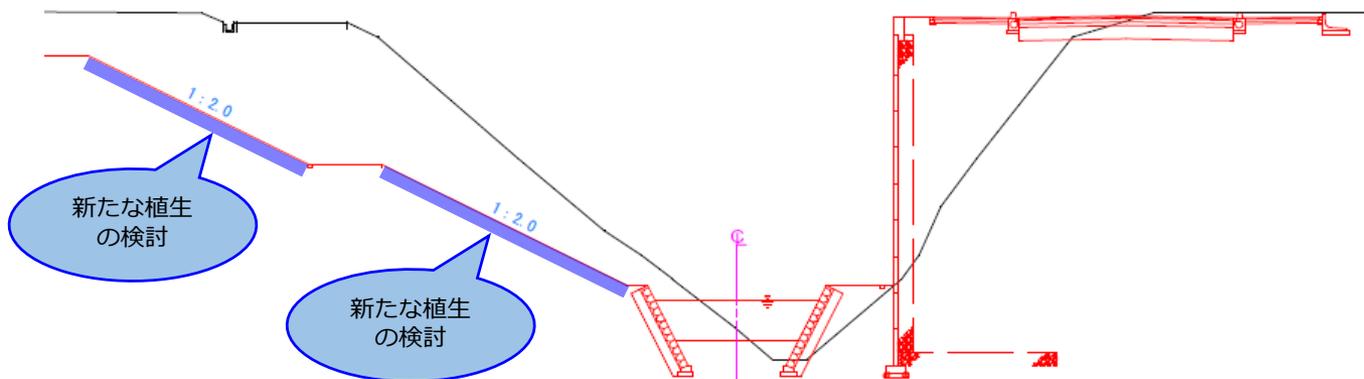


戸川

検討

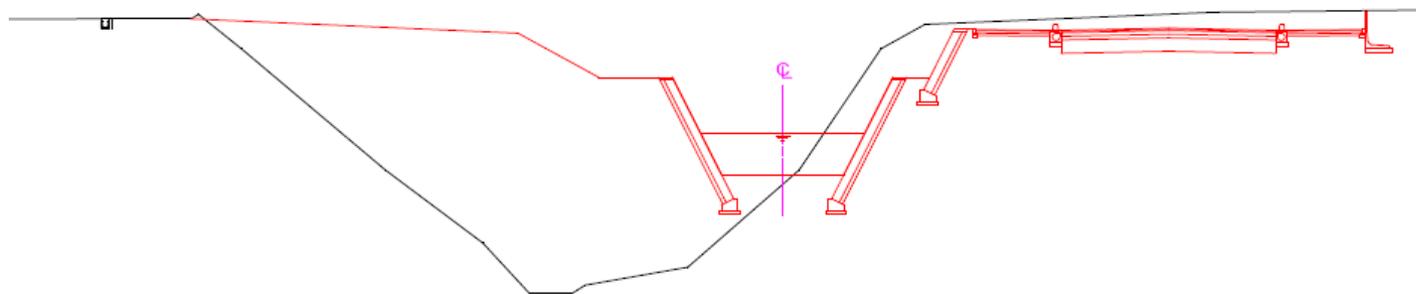
横野

現在の計画断面図



【中流部②】 断面検討のイメージ

当初の計画断面図



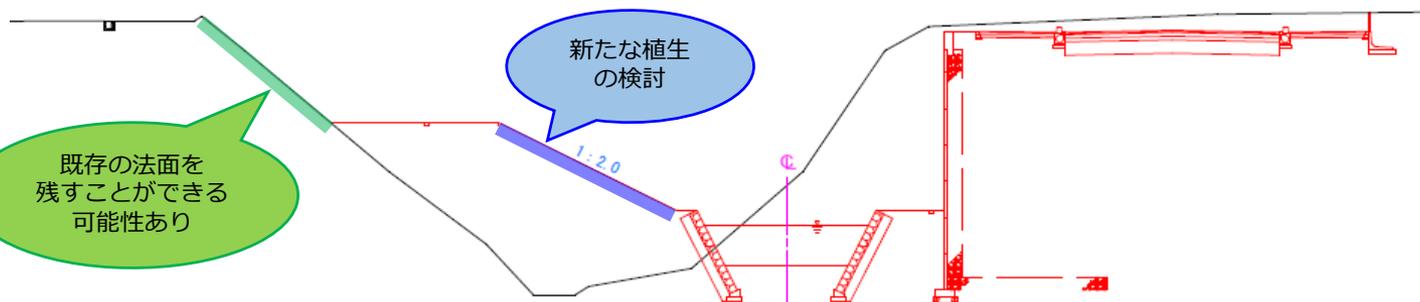
戸 川



検討

横 野

現在の計画断面図



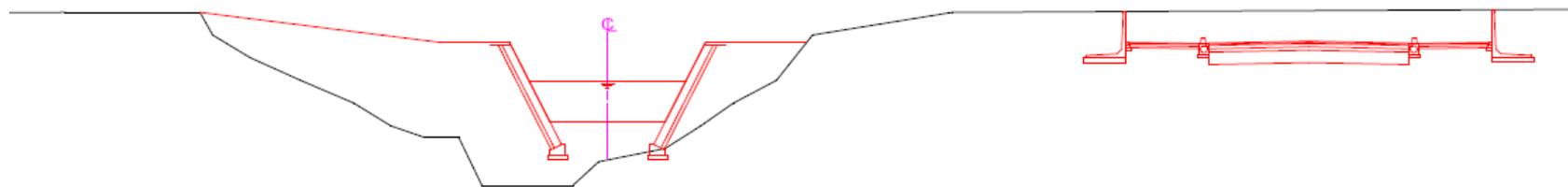
新たな植生の
検討

1:20

既存の法面を
残すことができる
可能性あり

【下流部】 断面検討のイメージ

当初の計画断面図



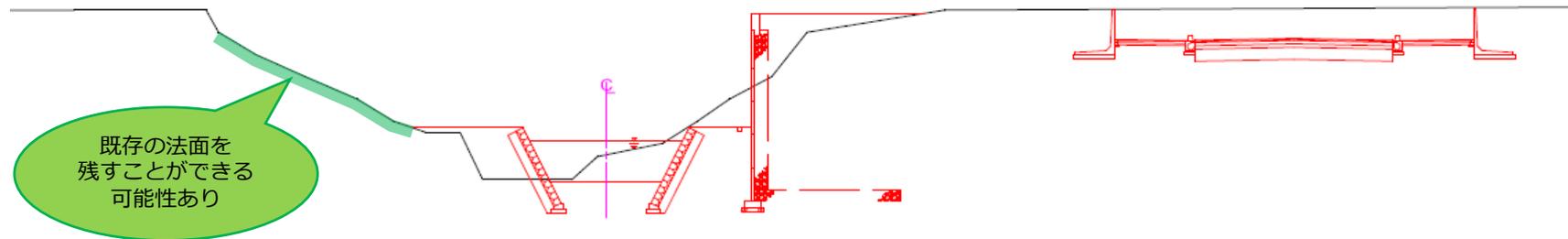
戸川



検討

横野

現在の計画断面図



既存の法面を残すことができる可能性あり

多自然川づくりの事例



道路側の擁壁の事例【上流部～下流部】



コンクリートブロックによる複断面の事例【上流部】

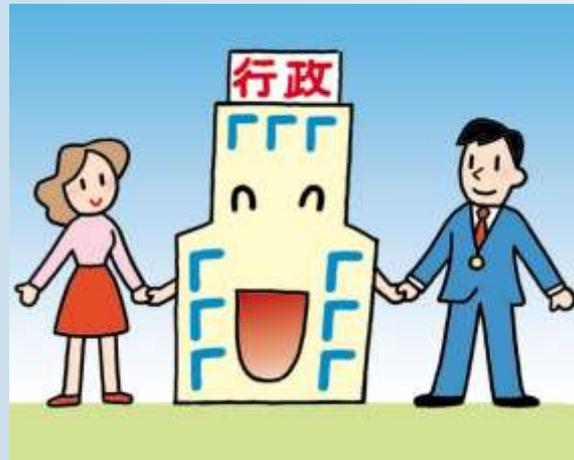


植生により緑化した斜面の事例【中流部①②】



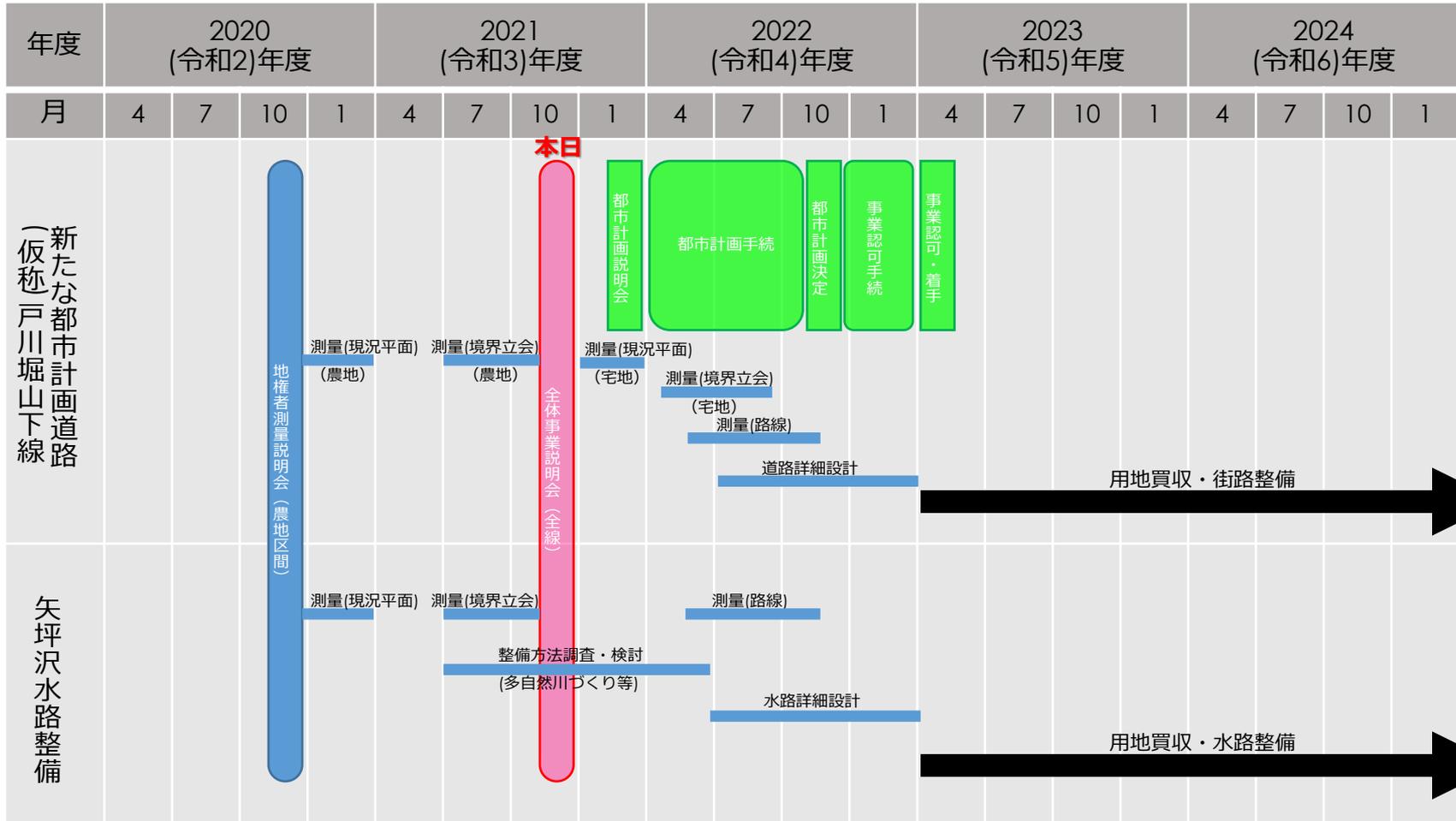
③ 今後の進め方（スケジュール）

< 地域と行政の協働 >



③ 今後の進め方について

■ 新たな都市計画道路線及び矢坪沢水路整備は次のような手順で進めてまいります。



※本スケジュール(案)は、あくまでも各種調整が順調に進捗することを想定した最短スケジュールの目安です。確定したものではなく、今後の関係機関協議や合意形成の状況等により、手続時期が大きく変動する可能性があります。

<参考> パネル展示説明会でのご意見

■ 北公民館 1 階ロビーや文化会館 2 階会議室に説明資料を提示しました

北公民館：令和 2 年 1 0 月 2 0 日～1 2 月 2 5 日

文化会館：令和 2 年 1 2 月 1 4 日～令和 3 年 1 月 3 1 日

※説明資料の掲示については、北地区全自治会への組回覧、北公民館のロビーへの案内掲示及び市のホームページで行いました。

投函された意見書数 北公民館：1 2 枚 文化会館：6 0 枚

意見書提出者の居住地内訳

市内		市外	不明	合計
北地区	その他			
35	25	6	6	72

ご意見の主な区分と意見数

水路	道路	企業誘致	説明会進め方	自然環境	防災防犯	市政	その他	合計
40	11	10	13	29	18	12	5	138

<参考> 主なご意見等

意見区分	主な意見
水路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矢坪沢の木を無くすことは止めてもらいたい ・ 整備は地域住民の永年の悲願なので後世に禍根を残さないために実現してもらいたい
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路を造ることより自然を守り活かすことを考えてもらいたい ・ この道路の整備、完成予定はいつか。日程を明示してもらいたい
企業誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地を手放したい気持ちはわかるが企業誘致による街の活性化は時代にあっていない ・ 秦野の水脈への影響が心配なので企業を誘致してもらいたくない
説明会 進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民説明会を各地で開催してもらいたい ・ 今までの説明会は一方的であるので計画全体を分かりやすく丁寧に説明してもらいたい
自然 環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ (昔の思いであるので) 未来の子供たちのために自然を残してもらいたい ・ 全部とは言わないが2～3割でも自然を残す方法を考えてもらいたい
防災 防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去に財産や人命が損なわれる災害は起きていますか ・ 矢坪沢周辺は暗く、登下校時に防犯上問題である
市政	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市税がかかりすぎると思われる。どの程度の効果が見込まれるのか ・ 企業誘致ではなく今あるものを活かしたまちづくりにお金をかけてほしい
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地に不快な看板が沢山あり早く撤去してもらいたい

※ご意見の詳細やその他のご意見については、市のホームページで閲覧ができます
<http://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1602810450971/index.html>

～ ご清聴ありがとうございました ～